

授業科目名	【G】 【EF】	プレゼミⅡ プレゼミⅡ	区分 必修	開講年次	【G】1 【EF】1	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	専門科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単独	【G】 【EF】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	現代社会の諸問題を法学の視点から議論する			担当者	田中 秀典		
授業概要	【概要】	新聞記事などを用いて、現代社会の様々な問題について発表・議論する。					
	【到達目標】	発表・議論に慣れること、そのために必要な事柄を習得すること、社会の様々な問題に興味をもてるようになること、それらについて法学的に考える姿勢を身につけること、を目標とする。					
履修条件	特になし。						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)					
他科目との関連性	特になし。						
教科書	特に指定しない。						
参考書	新聞など。それ以外は必要に応じて紹介する。						
評価方法	授業への参加姿勢、課題への取り組み状況など、平常点(100%)。						
フィードバック方法	発表等に対してコメントする。						
評価基準	授業に積極的に参加し、内容を理解して適切に表現できた者は「S」または「A」とする。内容の理解やその表現に不十分な点がある場合は程度に応じて「B」または「C」とする。内容の理解自体が不十分な場合はその程度に応じて「D」または「E」とする。評価不能な場合は「F」とする。						
その他	特になし						

授 業 科目名	【G】	プレゼミⅡ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【EF】	プレゼミⅡ	必 修		【EF】1		【EF】2
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の数回で、発表のために必要な事項について確認する。</li> <li>・授業回ごとの担当を決めて毎回数名に発表してもらい、それにもとづいて主に法学的な(あるいは政治学的な)視点から議論を深める。担当者だけでなく、全員がよく思考し、積極的に質問をする姿勢が必要となる。</li> <li>・各担当者には、時事的な問題の中からテーマを選択して発表の準備をしてきてもらう。そのためには、レジュメの作成などの直接的な作業はもちろんのこと、普段から新聞をよく読んだり、そこにある問題についてよく考えるなど、日々の取り組みも重要となる。</li> </ul>						
予習内容	発表資料(レジュメ)の作成とそのための準備 授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。						
復習内容	不明点などの再検討 授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。						

科目コード B000-2-Y